



丈夫で見た目にも優しい『しっかり支柱』フェンス

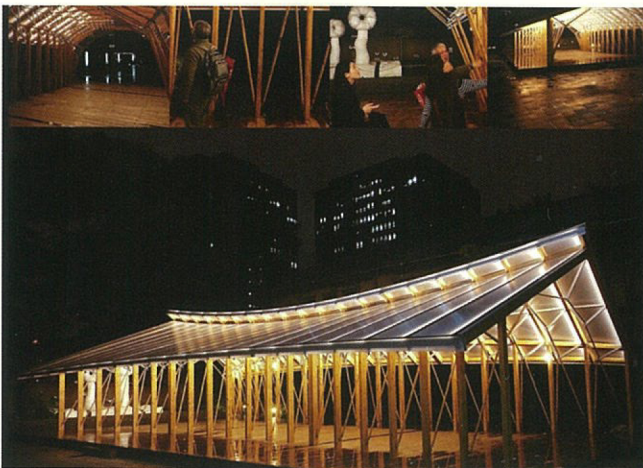
今まで木製はなかったんですか&『しっかり支柱』ができるまで

鹿の被害は20年くらい前から深刻でした。木の支柱はありましたが、使われなかった理由があります。重くて太くてかさばるものしかありませんでした。平地では使えても山では使えませんでした。昔は、木の支柱で重さ50~60キロもあり重かったのですが、『しっかり支柱』は、重さが1.5キロしかありません。木を腐らせない技術は前からありましたが、スギが材料なのでより軽くすることができました。もともとは家にあった鉄の門型の工具で打ち込む道具で思いつきました。形も八角形にする等、工夫を凝らしています。これは製品化できるのではないかと徳島森林づくり推進機構に相談しました。今まで3年~5年間森林づくり推進機構が管理している山で実験と研究をしていただき、令和2年度から徳島県内のどこでも使えるようになりました。

他にはない商品だそうですね。

他には作ってないです。全国で多くの需要が見込まれますが、販売していくのは大変です。木材利用にもつながりますが価格が障害になります。長い目で考えれば、再生できないものは処分コストがかかります。木でできた支柱なら再生利用ができ、価格的なことも解決できます。鹿対策だけでなく田畑のイノシシやサル対策でも使用できます。是非全国各地で使っていただきたいです。

次々と新しいことに取り組んでこられたんですね。今後は？



現在の取り組みとして台湾への木材輸出を行っています。



木質内装材

内装材を始めた時も、節があるものを使うのは国内でも少なかったです。徳島県内で最初に節がある壁材や床材を製品にしたのは当社です。私は、節があるのもきれいだと思ったから作りました。スギの型枠を作った時も、国内では一枚もスギの合板がありませんでした。地元の林道の工事に土木屋さんが外材を使っていました。「スギでもできる」と確信し、この時も徳島県と相談し、使えるかどうか、実験を繰り返し商品化しました。今まで他のモノが当たり前にある中で、開発したものを普及していくというのは本当に大変ですが、やりがいがあります。今後は、今まで通り構造材もするし大きいものもするけど、小さくてもおもしろいものを作っていきたいです。その他、台湾への輸出にも取り組んでいます。

JAS 認証を取り入れてよかったこと

寸法と品質に対する認識が変わりました。昔は100ミリだったら100ミリで挽けばいいという意識でした。JASでは材料が収縮しマイナスになることは許されません。JAS認証工場になると一定の信用がついてきます。公共事業の木材も出させていただいています。

